TOPICS　社会への取組み

建設現場のテレワークシステム「K-DIVE CONCEPT」

土木・建設業は豊かな社会の維持・構築に欠かせない業種ですが、危険を伴う労働環境や、人手不足の深刻化・技能継承、低い労働生産性などの課題を抱えています。

当社子会社のコベルコ建機(株)では、これらの課題を解決すべく次世代の遠隔操作技術を用いて建設現場のテレワークシステム「K-DIVE CONCEPT」の開発を進めています。この技術では、遠隔操作で重機を操縦することで、現場における省人化が図れ、安全性の向上につながります。また、重機の２人乗りは困難ですが、遠隔操作であれば隣に立ちながら熟練者から若手への教育が可能となります。さらに、１つの操作端末から複数拠点・複数重機の操作が可能になることや、データ活用により現場を見える化し、建設現場全体の効率化が可能になります。

当社グループは技術開発を通じて建設現場における働き方そのものを変え、働く人たちの環境を向上し、あらゆる人へ仕事の可能性を広げる「誰でも働ける現場」の実現を目指してまいります。

遠隔コックピット

「KOBELCOファミリーシップ制度」の新設

当社グループは「多様な人材の活躍推進」を掲げており、その中のダイバーシティ＆インクルージョン*1の推進の一環として、2021年12月に「KOBELCOファミリーシップ制度」を新設しました。本制度は、法的な婚姻関係にない LGBT*2社員のパートナー及びその子どもを社内制度上で「家族」と認め、法律婚と同様の社内制度を利用することを可能にします。

今後も、社員の誰もが安心し、やりがいを持って働き続けられる職場環境の整備を進めてまいります。

＊1　多様な背景や価値観を尊重・認め合い、誰もが十分に力を発揮できること
＊2　性的マイノリティー（少数者）の総称の１つ
＊3　LGBTの社会的課題の解決に向けて、自分事として行動する人のこと

KOBELCO LGBT ALLY*3 ロゴ

コベルコ地域社会貢献基金

当社グループは、創立100周年を迎えた2006年度に「コベルコ地域社会貢献基金」を設立し、毎年当社グループの事業所・研究所が立地する地域の子どもたちへの支援を実施しています。2021年度は、コロナ禍でも子どもたちが安心して遊ぶための支援を望む声が多く、小中学校や施設などに対して、空気清浄機や除菌用品、屋外で使用する遊具などを寄付しました。

屋外で使用する遊具を寄付

当社ホームページでは、さらに詳しい情報を掲載しています。
https://www.kobelco.co.jp/sustainability/index.html